

臨床腫瘍センターを受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	消化器癌の中等度催吐性リスクレジメンに対するホスネツピタントの有効性について
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	(所属) 臨床腫瘍センター (職名) 准教授 (氏名) 岩田 崇
研究の対象となる方	2022年7月から2027年11月までに胃癌、大腸癌と診断された患者さん。 (20歳以上、オキサリプラチンまたはイリノテカンを使用された方で制吐剤としてホスネツピタント(アロカリス®)を使用した方)
研究期間	研究実施承認日 ～ 2028年3月31日
研究目的及び利用方法	〔研究目的〕 胃癌や大腸癌で使用される抗がん剤であるイリノテカンまたはオキサリプラチンで生じる悪心・嘔吐に対して、制吐剤であるホスネツピタントの有効性と安全性などを検証することを目的とします。 〔利用方法〕 ホスネツピタント使用症例の悪心・嘔吐コントロール状況や有害事象発現程度を問診表や電子カルテ記載などから確認し、個人を特定できないようにした上でデータ抽出し、解析を行います。 〔外部への試料・情報の提供〕 非該当 〔外部への提供開始日〕 非該当
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：非該当 情報：診療録(カルテ)および問診票などから、年齢、性別、既往歴、血液検査結果など、問診票から有害事象の程度などを収集
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	非該当
試料・情報を利用する学外の者	非該当
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	2028年2月29日までに下記問い合わせ先まで申し出てください。

外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学病院 臨床腫瘍センター 担当者：(職名) 准教授 (氏名) 岩田 崇 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 22930)